

## 戸敷正宮崎市長を表敬訪問



↑戸敷正宮崎市長(写真左から2人目)と握手を交わす遠藤町長(写真右から2人目)

7月23日、遠藤町長は宮崎県宮崎市の戸敷正市長を表敬訪問し、広野町への職員派遣に対し感謝の言葉を述べました。同市からは平成24年度より広野町へ職員を派遣していただいております。現在も復興企画課において派遣職員が業務にあたっています。

戸敷市長は、「派遣中の職員には、広野町でしっかり支援するよう伝えてある。今後も職員派遣を継続していき、広野町の復興のために支援をしていく。」と話しました。

## 中学生カナダ教育交流派遣団が帰国



↑遠藤町長(写真右)に帰国報告する生徒ら

8月23日、広野中学校海外教育交流派遣事業で8月16日からカナダに行っていた派遣団が無事に帰国しました。参加した生徒の家族や町関係者が集まり、広野小学校駐車場で派遣団を乗せたバスを出迎えました。

バスを降りた生徒らは少し疲れた様子でしたが、出迎えた家族と楽しそうにカナダでの思い出を笑顔で話していました。

遠藤町長や松本教育長も派遣団を出迎え、生徒や引率の先生にねぎらいの言葉をかけました。

## ベルテクノプラント工業地鎮祭を実施



↑挨拶を述べる遠藤町長

8月2日、遠藤町長は広野町工業団地内に建設予定のベルテクノプラント工業の地鎮祭に出席しました。神事で同社の親会社ベルテクノプラント工業の杉浦茂樹常務がくわ入れし、関係者が玉串をささげました。神事後、遠藤町長は「経済活性化、雇用創出、定住促進が期待される。」と挨拶を述べました。

同社は、楢葉町の楢葉南工業団地内にある工場で作ったパネルを溶接し、給水タンクなどを製造する会社であり、来年春の稼働を目指しています。

## 広野町空手スポーツ少年団が全国大会出場を報告



↑遠藤町長から激励を受けた矢内良誠さん(写真中央)と矢内大誠さん(写真左)

7月30日、広野町空手スポーツ少年団に所属する広野小学校4年生の矢内良誠さんと広野中学校3年生の矢内大誠さんが、広野町役場を訪れ、全国大会に出場することを遠藤町長に報告しました。遠藤町長は、「これまで学んできたことを活かして全力で取り組んでください。町民みんなので応援しています。」と激励し、大会参加に係る費用の一部として、広野町文化スポーツ振興基金からの助成金を手渡しました。

## 広野町と広野町議会が合同要望活動



↑吉野復興大臣に要望書を手渡す遠藤町長と議会議員

7月27日、広野町と広野町議会は合同で復興庁を訪問し、吉野正芳復興大臣に要望書を提出しました。主要な要望事項として、復興推進体制の継続、医療・介護・福祉体制の充実、高効率石炭火力発電所(IGCC)の立地に伴う新たな交付制度の創設、「防災拠点・道の駅ひろの」(仮称)の整備への財政支援、イノベーション・コスト構想の推進、農産物風評払拭への支援など、町民の生活再建や町の復興に向けた国の積極的な支援を求めました。このほか、経済産業省、環境省、公明党、東京電力ホールディングス株式会社などにも要望しました。

## 広野中学校女子剣道部が東北大会・全国大会出場を報告



↑遠藤町長から激励を受けた井上由海さん(写真中央)

8月6日、広野中学校の女子剣道部の井上由海さんが広野町役場を訪れ、白河市で開催された県中体連剣道大会において女子個人戦で優勝し、東北大会・全国大会出場が決まったことを遠藤町長や松本教育長に報告しました。井上さんは、「1試合1試合集中して、自分の剣道をしていきたい。」と抱負を述べました。遠藤町長は、「東北大会・全国大会への出場おめでとうございます。日頃の練習の成果を存分に発揮して、全力を尽くしてください。」と激励しました。

## 第2回ふくしま学(楽)会を開催



↑松岡教授の話に耳を傾ける参加者

8月4日、ニッ沼総合公園パークギャラリーにて、早稲田大学ふくしま広野未来創造リサーチセンター主催の第2回ふくしま学(楽)会が開催されました。「まちづくり」、「農林水産業」、「再生可能エネルギー」、「1Fの廃炉」の4テーマについて、それぞれの分野で研究や事業を行っている学識経験者やNPO団体、ふたば未来学園高校生徒らによる事例発表が行われ、センター長の松岡教授や遠藤町長など約80人の参加者が活発なディスカッションを展開しました。

## 西芳照さんによるトークイベントを開催



↑西さんの話に耳を傾ける参加者ら

8月24日、ひろのてらすでW杯ロシア大会日本代表専属シェフの西芳照さんによるトークイベントを開催しました。西さんの功績をたたえようと企画したもので、町民やふたば未来学園高校の生徒ら約100人が参加しました。

遠藤町長がねぎらいの言葉を述べ、町職員が西さんに花束を渡しました。

トークイベントで西さんは、「体をベストコンディションに持って行くためには、食事にもこだわってほしい。」とロシア大会を通じて実感した食の大切さを話しました。